

主な内容

- 皆さんの声を議会へ
(代表質問等) 2~5
- 予算審査特別委員会
審査報告 6~8
- 主な議決結果 9
- インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか 10



「たきかわ市議会だより」をアプリで読みます！



マチiroで検索 (iOS・Android 対応)



令和3年度の一般会計予算は209億5千8百万円

コロナ対策を最優先に、子育て、 医療、教育など幅広く対応

第1回市議会定例会が3月2日から18日までの17日間の会期で開かれ、前田市長から「市政執行方針及び予算大綱」、山崎教育長から「教育行政執行方針」の説明がそれぞれ行われました。令和3年度一般会計予算など市長提出議案32件がいずれも可決されたほか、市政について5人の議員による代表質問等が行われました。



▲来春開設予定の新滝川市立高等看護学院

ふるさと納税の推進	
寄付金予算額13億円	(当初対比+4億円)
合同墓整備	880万円
滝の川公園テニスコート改修	3億1,375万円

一般会計・特別会計		予算額	伸び率
一 般 会 計		209億5800万円	-0.1%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	45億2595万円	0.1%
	公営住宅事業特別会計	4億2856万円	-17.8%
	介護保険特別会計	40億971万円	-0.2%
	後期高齢者医療特別会計	6億6366万円	1.3%
	土地区画整理事業特別会計	2760万円	-50.1%
	計	306億1348万円	-0.4%
企業会計		予算額	伸び率
下水道事業	収入計	21億5213万円	-2.3%
	支出計	25億3371万円	-1.4%
病院事業	収入計	68億6821万円	-6.7%
	支出計	78億1470万円	-1.8%

皆さんの声を議会へ



当市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求める一般質問において、個人質問と代表質問が認められています。代表質問は会派代表者が市政執行方針等に対して行うもので改選年を除き、3月定例会において行われています。本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、5人の議員が質問しました。

質問者	質問項目
荒木 文一 (会 派 清 新)	○コロナワクチン接種体制について ○コロナワクチン接種の勧奨について ○コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の考え方について ○ICT農業の推進について ○新卒者の地元定着について ○交流人口増に向けた課題について ○施設解体工事の優先度について ○住宅住み替え支援制度について ○街路灯の補助制度について ○市立病院看護師確保対策について ○空き家対策について ○コロナ禍での新入学児童への対策について ○GIGAスクール構想について ○小中学校適正配置計画について ○「えべおつ市民大学(仮称)」の開設について ○資源リサイクルの推進について ○滝川市立病院経営改善計画について ○公共施設の在り方について ○マイナンバーカード普及について
安樂 良幸 (新 政 会)	○3期目折り返しにおける市政運営について ○本市の基幹産業である農業について ○森林管理事業について ○本市の観光振興について ○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会との連携事業について ○コンパクトシティ形成に向けた取り組みについて ○東団地跡地の分譲について ○JR根室本線(滝川~富良野間)の維持・存続について ○市立病院看護師の確保対策について ○河川機能の保全について ○國學院大學北海道短期大学部との連携について ○「えべおつ市民大学(仮称)」の開設について ○文化センターの今後の在り方について ○ふるさと納税について ○マイナンバーカードについて ○学校教育について
山本 正信 (会 派 みどり)	○三期目の折り返し地点で公約の達成と総合計画進捗について ○コロナウイルス感染症対策について ○市内農業経営の人手不足とICT導入について ○新卒者の地元定着について ○滝川ふれ愛の里について ○観光事業のあり方について ○道路・橋梁整備維持対策について ○街路灯の維持について ○介護・高齢者対策について ○防災対策について ○空き家対策について ○ICT教育について ○障がい児対策について ○江部乙地域の活性化について ○財政健全化と滝川市立病院経営改善計画について ○マイナンバーカードについて
堀 重雄 (公 明 党)	○「ワーケーション」モデル事業について ○コンパクトなまちづくり構想について ○コロナウイルスワクチン接種について ○コロナ禍における企業への支援について ○観光事業について ○市立病院看護師確保について ○空き家対策について ○新生児支援について ○行財政改革について ○ふるさと納税について
寄谷 猛男 (日 本 共 产 党)	○コロナウイルス対策について ○街路灯の維持管理について ○高齢者の保健事業・介護予防について ○障がい者福祉について ○空き家対策について ○学校教育について ○社会教育について

第1回定例会 代表質問から

コロナワクチンの接種体制について



荒木 文一
会派清新

問

コロナワクチンの接種体制の方向性はどうなるのか。また、人員確保に対する考え方とともに、接種費用の全額負担は担保されるのか、現状の認識を伺う。

答弁

接種の実施は滝川市医師会との協議により、市内医療機関での個別接種を基本に検討を進めています。前例がないことから、準備段階では課題解決に手探りで対応しており、業務内容に応じて臨時職員の採用や人材派遣などの活用による人材確保に向け調整しています。

費用については全額国が負担するとされていますが、引き続き情報収集に努めています。

問

努力義務としながら任意としているワクチン接種についての勧奨は国の役目と認識しているが、集団免疫の獲得効果が大きい接種率の向上について市長はどのような見解をお持ちか伺う。

答弁

感染症の拡大を抑制するための有効手段であるワクチンの接種は、多くの市民の皆さんに受けさせていただきたいと考えていますが、有効性や安全性、副反応のリスクを理解いただいた上の同意が前提と認識しています。接種の順番が来れば私自身も接種し、安全性を含めて情報発信できればと考えています。

問

新設予定のLED灯の交換に対する補助制度については、長期的な制度継続が求められるが方針を伺う。

答弁

LED灯へ切り替える補助制度は本年度で8年目を迎え、全体の76%を切り替えることができました。

街路灯の維持管理の実情を踏まえ、交換・移設に係る補助金を新たに設けることとしました。

長期的な制度継続については、今後も課題にあわせた見直しを行いながら対応していきます。

市政運営について 市長3期目折り返しにおける



安樂 良幸
新政会

問

令和3年度は、前田市政3期目の折り返しの年度であり、元年度、2年度は市立病院の経営悪化やコロナウイルス感染症対応により、市長が当初思い描いた政策を修正せざるを得なくなつたものと考える。市長の現状認識と今後の方向性について伺う。

答弁

ご指摘のとおり、昨年は、コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな場面において、当初の予定から軌道修正が必要となり、中止や延期を余儀なくされた事業がありました。また、市立病院もコロナ禍の影響を大きく受け、経営は厳しい状況にあり、市と病院が一体となって経営改善に努めています。

新年度については、コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の支援を最優先に取り組み、この難局を乗り越えて行く所存です。とりわけ、社会経済活動を再開するためには、ワクチン接種が極

めて重要であると考え、市民の皆さんがスムーズに接種できるように準備を進めます。今後、コロナ禍による世の中の変化をどのようにまちの良さへと転換していくかを考えながら、アフターコロナに向けた取り組みを進めていきます。

問

國學院大學北海道短期大学部との良好な関係維持について伺う。

答弁

短大部との連携については、平成27年に包括連携協定を締結し、地域人材の育成や定着など、短大部学生の皆さんに活躍していただくまちを目指して、精力的に取り組んできました。短大部からの情報提供では、入学志願の状況は良好であり、これまでの連携の成果が表れているものと考えています。引き続き地域に根付いた大学として地域貢献、地域人材の育成をお願いするとともに、今後とも、短大部並びに國學院大學との連携を密にした市政運営を行っていく所存です。

第1回定例会 代表質問から

ICT技術の導入について 農業における



山本 正信
会派みどり

商品開発について ふるさと納税返礼品の



堀 重雄
公明党

問

前田市政がスタートして10年が経過した。厳しい財政状況の中、困難なかじ取りだったと推察する。可能な限り公約の実現に向けての考えを伺う。また、併せてコロナ対策について伺う。

答弁 3期目の公約であるイレブン・プラス・ワンの進捗については、農村環境改善センター改修、民間事業者のノウハウを生かした滝川キャンプサイトの事業展開など、着実に公約実現が図られていると考えています。残りの任期では、官民連携による地域活性化やふるさと納税の魅力向上による財源確保に努めるとともに、市立病院の経営改善や財政健全化を着実に進め、また、文化センターなどの公共施設の方向性を示していくことも注力していきます。

アフターコロナを見据え、各種経済対策を進めるとともに、新築住宅費用の一部助成実施に向け検討を進めるなど、公

約実現と総合計画達成に職員一丸となって取り組んでいきます。

問

市内農業経営の人手不足対策としてICT技術導入拡大の現状について伺う。また、農業は地域経済を支える産業だが、例えば十勝型の大規模複合やJAによる農産物加工を通じて雇用創出などを当市でも目指すべきと思うが考え方を伺う。

答弁 ICTの導入は滝川市ICT農業利活用協議会が設立され、「産地営農体系革新計画」に基づきガイダンスシステム、自動操舵システムなどの活用拡大が進んでいます。将来の展望については、本市は水稻を基幹作物とする「米の産地」であることから、高品質な米の生産やブランド化を推進することで、地域経済発展へつながるよう農業団体と連携し、検討していきます。

問

市立病院の看護師確保対策として、具体的な取り組みについて伺う。

答弁 令和元年度から医療技術職や薬剤師などが看護師業務の一部を担うタスクシフトの取り組みや防疫業務手当の創設、コロナウイルス感染症の濃厚接触者に該当した場合の特別休暇の運用等を行っています。さらに、公務災害などによるコロナウイルス感染症罹患に対する上乗せ給付への加入も行いました。院内保育所の定員拡充などにも取り組んでいます。

問

第2期財政健全化計画を進めるにあたり、職員から行財政改革に対する考え方や意見をレポートで提出してもらい、改革に取り組む考えについて伺う。

答弁 職員からの意見を取り入れて効率的な組織を目指すためには、一つの方法であると考えます。様々な効率化のアイデアを活かすことができるよう職員の声をボトムアップして取り組んでいきます。

問

ふるさと納税の返礼品の開発は、将来に向けて重要な課題である。地場産業の活性化を推進し、寄付額の増加につなげる具体的な取り組みを伺う。

答弁 常時返礼品出品事業者とコンタクトをとって新商品開発を打診しています。近年の傾向としては何か月連続お届けといった領布会形式の返礼品の人気が高い傾向となっています。

また、コロナ禍において「巣ごもり需要」に対応した商品の開発にも取り組んで行かなければならないと考えています。今後も寄付者のニーズに沿った新商品開発を続け、地元特産品のPRを積極的に行い、寄付額の増加に向けて取り組んでいきます。



第1回定例会 個人質問から

介護事業の担い手確保について 高齢者の暮らしを支える



寄谷 猛男
日本共産党

問 街路灯のLED化は、小さな町内会には初めの負担が重いと感じる。補助金の引き上げなど町内会の実態に沿った支援について考えを伺う。

答弁 町内会の協力により街路灯のLED化は、令和3年度末には82%に達成する予定です。LED化による2年分の電気料金の削減額をもってLEDへの切り替え工事ができることから多くの町内会が負担のないよう計画的に取り組んでいます。

LED化に積極的ではない町内会もありますが、市がLED化の初期投資と費用対効果を十分に伝えきれていないことが大きな要因と考えています。LED灯への交換費用は1灯当たり多くても一万数千円です。この費用が町内会にとってどれほど厳しい金額なのか、町内会によって違うとは思いますが、何とかやりくりできる範囲であると考えて制度をつくっています。今まで取り組んでいなかった

町内会に対して具体的な数字をもって説明をするなど効果を分かりやすく説明して切り替えを進めたいと考えます。

問 高齢化、人口減少が進み町内会など地域の組織の維持が難しくなる中で、高齢者の介護事業の担い手の確保や組織化に向けた取り組みを伺う。

答弁 今後、少子化、人口減が進むことで介護事業の担い手の確保はますます困難になると予想されます。高齢者の保健事業・介護予防についての第8期計画では、介護人材のすそ野を拡大するために、中・高校生なども含む若者への普及啓発や、より多くの市民が介護の必要性を知る機会を作るため介護未経験者が受講しやすい入門的研修などを企画し、介護保険事業所や社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの関係機関と協議を行い、ニーズを見極めたうえで多様な人材参入の実現に向けた施策や組織化を検討します。

リモートによる審査方法を導入しました

コロナ感染症拡大防止対策として3密を回避するため、第1予算審査特別委員会でメイン会場と2つのサブ会場をパソコンで接続して行うリモート方式で会議を開催しました。（第2予算審査特別委員会は少人数のため従来の対面方式で実施）

▼リモート会議画面 メイン会場①、委員長②、サブ会場③④



一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月12日から17日まで各委員会を開催し、令和3年度一般会計予算ならびに特別会計5件、企業会計2件について審査を行いました。

合 同 墓 整 備

問 整備予定の合同墓の全体像はいつ頃分かるのか伺う。

答 新年度早々に設計業務を発注したいと考えている。8月に受付を開始し、9月に焼骨の埋蔵を予定している。受付開始など市民周知が可能となる適切な時期に合同墓の使用に合わせてお知らせを行いたい。

集団資源回収奨励

問 集団資源回収奨励金が前年度と比較して減額となっているが、要因を伺う。

答 町内会の加入件数が年々減少してきたほか、ペットボトル自体が薄くなってきたことで従量制である収集量が減ってきたことによる。

農業分野の独自施策

問 農業分野における市の独自支援施策について伺う。

答 元気な農業づくり事業補助金制定から8年が経過し、農業者の減少、経営規模拡大が急激に進み、営農形態が大きく変化していることから、ＩＣＴ技術などを活用した省力化技術導入に対する支援を新設した。これは国や道による支援の対象とならない経営体に対し行うものである。

住み替え支援事業の効果

問 住み替え支援事業補助金の実績と費用対効果について伺う。

答 平成25年度から運用を開始し、子育て世帯の新規申請で年間7～14件で推移。令和元年度までに延べ149件に活用されている。子育て世帯の居住環境の充実や、既存住宅の有効活用に重要な役割を果たしている。



デジタル教科書導入事業

問 小中学校教師用デジタル教科書導入事業について、習熟度に合わせた運用が望ましいと思うが、双方向に進み具合が確認できるものなのか伺う。

答 教師用デジタル教科書については、教科用デジタル教科書に含まれている画像などのコンテンツを活用することにより、教科書の内容を可視化し、理解を深めることを目的に導入するもので、児童生徒個々の習熟度に合わせる教材ではないことをご理解いただきたい。



※「委員会」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

高齢者施策

問 いきいき百歳体操のコロナ感染防止対策が終わったら、一律全会場で再開するのか伺う。

答 すでに一部では再開しているが、コロナ禍前と同様にすべての会場で開催できるとは考えていない。個々の状況に応じて感染対策に問題のないところから再開していきたい。

問 高齢者の総合相談対応について伺う。

答 地域包括支援センターなどの窓口で各種相談をお受けした際に、様々なサービスをご案内するなど幅広い支援をしており、今後も同様に取り組んでいく。

問 成年後見制度の周知や利用促進に向けた方策としてどのようなことに取り組むのかを伺う。

答 地域の会合などに出向いたり、高齢者施設や障がい者施設の相談員との連携を強化して周知を進めることで、気軽に利用いただける環境を整えたい。

市立病院看護師確保対策

問 市立病院の病床数を維持するために必要な看護師は確保されているのか伺う。

答 現時点での人数の確保は厳しいが、安定的な経営基盤を確立するためにも看護師確保は大変重要である。看護師を目指す学生への助成や院内保育所などの現職看護師への支援などを通じ、今後も看護師確保に向けた努力をしていく。



銀川団地改修

問 銀川団地の改修によりエレベーターが使えるくなるときの居住者の対策は。

答 大きな荷物や重い物の運搬補助については施工業者が対応することとしており、依頼等は直接業者に連絡いただくことになる。

市営団地の災害対策

問 ブラックアウトなどの災害発生時における市営団地の給水対策は。

答 新町団地と見晴団地は直圧方式への改修を終えているが、銀川団地については、直圧方式では配水できないため、今後も受水槽方式で管理をしていく。受水槽方式の啓南団地も今後検討しながら順次対策を行っていく。

特定検診の受診状況

問 コロナ禍での特定健診の受診状況と受診率向上対策は。

答 コロナの影響により、集団検診は、前年に比べ受診率で4%、約250名減少しているが、個別検診で医療機関への受診勧奨の協力依頼などを行ったことから受診率は盛り返している状況にある。引き続き、感染予防対策と並行し受診率向上に努めていく。

脳ドック事業について

問 脳ドックを受診できる医療機関数と市民の費用負担は。

答 滝川脳神経外科病院と脳神経よしだクリニックの2つの医療機関で受診できる。受診者負担分は本人が5,000円、保険者負担分が19,750円となっている。

予算審査特別委員会 における各会派討論

◎会派清新

長引くコロナの影響により市税の大幅な減収が見込まれる中、着実な成果を挙げるふるさと納税事業をより充実させるため、首都圏などでの積極的なPRの推進に加え、魅力的な返礼品の開発などにより、一層の歳入確保に努められたい。滝の川斎苑や農村環境改善センターの工事が完了し、新年度は大規模事業が減少する一方で、必要なコロナ対策費用が盛り込まれた。スムーズなワクチン接種の実施と地域経済の回復、市民の安心安全を最優先とした執行を希望する。

コロナの影響を受け、病院事業は大変厳しい経営を強いられているが、医療職員の充実は欠くことができない。看護師の離職防止、さらに就学支援、高等看護学院の建て替えなどにより、未来を担う看護師の確保に努めるとともに、市と一体となった取り組みにより経営改善をされることを期待する。

◎新政会

他自治体病院が医師確保に苦慮する中、市立病院で11名もの医師などを確保したことを評価する。

市政の執行に当たっては、ふるさと納税でのポータルサイトの活用や細やかなPR活動および魅力的な返礼品の開発、國學院大學北海道短期大学部との連携強化、特殊詐欺などの消費者被害対策、敬老特別乗車証の安

定的な維持、コロナ禍による高齢者へのきめ細やかな対応、ワクチン接種などの各種コロナ対策、農村環境改善センターの運営の推進、滝川ふれ愛の里やキャンプ場などの外客誘致施策、道の駅たきかわの魅力アップ施策のほか、新規事業の脳ドック事業、市営住宅指定管理者との一層の連携強化、第8期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の着実な実行、長期的視点にたった計画的かつ効率的な下水道施設の更新などを望む。

◎会派みどり

令和3年度の市政の執行に当たり、ふるさと納税については今後も首都圏などでのPR活動や新たなポータルサイトの活用の推進と併せ関連経費の削減のほか、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計においては、健全経営のバランスに考慮した各種施策の積極的かつ確実な推進に努めるよう望む。また、病院事業では、昨年からのコロナウイルス感染症による市民の受診控えなどが影響し、医業収益は依然として厳しい状況にあるが、基幹病院として市民の利用を促進するとともに経営の安定化に向け、市立病院経営改善計画に掲げられた重点取組テーマの4項目を確実に実施することを期待する。

◎公明党

令和2年度のふるさと納税は

多額の寄付をいただく結果となつたが、良好な時にこそ現状分析を行い、新たな商品開発に生かしていただくとともにコロナワクチン接種を希望するすべての人が受けられるよう取り組むことを求める。

高齢者を含む一般のコロナワクチン接種では、市立病院と民間医療機関との連携を密にすることが求められるが、市立病院でワクチン接種を実施できない場合には、他の支援ができることを市民に明確にすべきである。

介護保険については、地域包括支援センターに相談することができずに老々介護、認々介護の状態に陥ってしまっている世帯がないかを今一度、ネットワークを張り巡らせながら総点検していただくことを要望する。

◎日本共産党

国民健康保険については加入者負担を増やすことなく市民の健康を守り、また予防活動をさらに進めること、公営住宅については団地再編事業の適切な実施に努めること、介護保険については単身高齢者が増え、身の回りの支援が今後さらに必要となることが予想されることから成年後見制度の利用を含めた多様なニーズに沿った事業を展開すること、病院事業では看護師対策での成果を踏まえ、引き続き患者目線にたった病院経営の改善に取り組むことを要望する。

なお、土地区画整理事業については今回は反対しないが、整理された土地の活用など課題は山積していることからその解決に向け議論を重ね、市民が納得できる事業を進めるよう要望する。

令和3年第1回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1～8号	令和3年度滝川市各会計予算	原案可決
議案第9号	令和2年度滝川市一般会計補正予算（第14号） 障害福祉サービスの報酬改定に伴うシステム改修、放課後児童クラブなどにおけるコロナ感染防止対策、コロナ感染予防のための換気および冬期休業の短縮に伴う燃料費の増額などに係る補正予算です。	原案可決
議案第10号	令和2年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第11号	令和2年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第12号	令和2年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第4号） コロナ感染症の影響により保険料の免除などを実施したことに対する国の財政支援に伴う補正予算です。	原案可決
議案第13号	令和2年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第14号	令和2年度滝川市病院事業会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第15号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第16号	滝川市基金条例の一部を改正する条例 公営住宅等事業基金を設置するための改正です。	原案可決
議案第17号	滝川市民福祉条例の一部を改正する条例 医療費助成制度における受給資格者の本人確認について電子資格確認を導入するための改正です。	原案可決
議案第18号	滝川市墓地管理使用条例の一部を改正する条例 滝の川墓地に合同墓を設置するための改正です。	原案可決
議案第19号	滝川市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	滝川市道路構造等条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	滝川市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	滝川市緊急農地排水対策支援事業分担金に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について（西町デイサービスセンター等） 令和3年4月1日から3年間、滝川市社会福祉事業団を指定管理者として指定しました。	原案可決
議案第24号	公の施設の指定管理者の指定について（池の前水上公園キャンプ場） 令和3年4月1日から3年間、株式会社北のたまゆらを指定管理者として指定しました。	原案可決
議案第25号	監査委員の選任について 宮崎英彰さんが再任されました。	原案同意
議案第26号	教育委員会委員の任命について 新たに木曾旬映さんが任命されました。	原案同意
議案第27号	公平委員会委員の選任について 鷲尾昌法さんが再任されました。	原案同意
議案第28号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 吉井裕視さんが再任されました。	原案同意
議案第29号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
議案第30号	予算審査特別委員会の設置について	原案可決
議案第31号	令和2年度滝川市一般会計補正予算（第15号） 今冬の降雪量増加に伴い、除雪等委託料を増額するための補正予算です。	原案可決
議案第32号	工事請負契約の締結について（滝川市立高等看護学院新築A工事）	原案可決
議案第33号	工事請負契約の締結について（滝川市立高等看護学院新築B工事）	原案可決
意見書案1号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める要望意見書	原案可決

令和3年第1回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分について（令和2年度滝川市一般会計補正予算（第12号）） 国のひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費補助金を受けて行うひとり親世帯臨時特別給付金を支給するため予算措置したものです。	報告承認
議案第1号	令和2年度滝川市一般会計補正予算（第13号） コロナウイルスワクチン接種体制を確保するための補正予算と、総合交流ターミナルたきかわ空調設備等改修工事および池の前水上公園キャンプ場トイレ等増設工事が年度内に完了しないため翌年度へ繰り越すための繰越明許費です。	原案可決
議案第2号	令和2年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決

※「意見書」・「専決処分」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照



なるほど、そななだ 用語を理解して議会をもっと身近に！

■委員会（P 6）

議会に提出された議案などを、少人数の議員で専門的・能率的に審査するために設置される議会の内部組織のことです。常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があります。

■意見書（P 9）

地方自治法の規定で、公益に関することについて国会や国の関係省庁などに対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことです。意見書の案は議員が提出し、本会議でその可否を決めます。

■専決処分（P 9）

議会が議決または決定すべき案件について、議会を招集する時間的な余裕がないとき、市長が代わって意思決定することです。専決処分をしたときは、次の議会に報告して、承認を求めます。

傍聴してみませんか

令和3年第2回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。



日	月	火	水	木	金	土
5/30	31	6/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15 本会議	16	17	18	19
20	21 本会議 一般質問	22 本会議 一般質問	23	24	25	26
27	28	29	30	7/1	2	3

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

インターネット中継のお知らせ

滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていたけるよう、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。



たきかわ市議会
ホームページQR



編集後記

今号からリニューアルした市議会だよりは、いかがだったでしょうか。

“市議会だよりの第一印象を変える”をテーマに、市民の皆さんの生活に密着した重要な審議をしている市議会に関心を持ってもらうために何を伝えるべきか、編集委員一同、熱心に議論を重ねてきました。中でも縦書きから横書きへの変更は大きな決断でした。

今後も分かりやすく、親しみやすい紙面づくりを心掛けてまいりますので、1人でも多くの市民の皆さんに手に取ってもらえば幸いです。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員長 渡邊 龍之

発行責任者 滝川市議会議長 関藤 龍也